

三加和  
中学校  
学校たより

# MIGAKI

22限目

2月  
24日  
金



## メディア コントロールして?...

先週、期末テスト(1,2年生)が終わりました。  
期末テストの期間中に1-メディアの取組を  
各ご家庭でも協力していただきましたが、その結果

は、学習時間よりメディア使用時間が多かった人が、1年生7人、2年生5人、3年生3人  
でした。さすが上級生になると、自制心をも、コントロールできるようになってくるんですね。  
少し安心しました。何も『メディア利用時間を0にしない!』なんてことは言いませんが、  
せめて定期テストの勉強期間中くらいは、勉強時間より減らしてほしいと思っております。

今の時代はICT機器をいかに活用し、情報を上手に利用できるかにかかっています。ですから、タブレットも、定規やコンパスなどと同じように文房具の一つとなります。そこで私たち大人は、子どもたちに『どのように利用するか』を教えていかなければなりません。そのためには、これから子どもたちが足を踏み入れるかも知れないトラブルを私たち大人が知っておくことが必要です。しかし、トラブルを起こす要因となるデジタルの知識は、大半が私たちより子どもたちの方が上です。これはとても恐ろしいことです。これまでの時代、いろいろな悪さやトラブルなどは、私たち大人の方が経験があり、それに対する指導や注意をすることができました。だから『これくらいの失敗なら大丈夫』『これは絶対ダメだ!』と判断して子どもに教えることができました。しかし、スマホやタブレットによるインターネットやSNSのトラブルは、私たちが経験したことのない領域なので、事前に教えることが



難しいのです。だから指導が後手になり、私たちが気づいた時には、子どもたちがトラブルの中にとらふりとハマっていることが多くあります。

私がここ10年で経験した事例の一部ですが、入学してすぐに裏アカを使って1クラスの友人になりまし、メールや書きこみを行ったり、1人分の情報などを売買したりしていることもありました。どのトラブルも、**そんなことうちの子にはできない。(そんな使い方をしていない)**と思っているご家庭の子でした。事実、ぶっちゃけ金銭のやりとりなんて、小学生でも使える機能で、もの1分もあなばできちゃうんです!! そんな簡単にできるなんて、思いもせぬよね! でも、それが現実だし、子どもたちがふみこんでしまうトラブルなんです!! また、生徒同士のトラブルも、私たちが経験しているのは、隣の中学校の生徒ともめるくらい範囲でしたが、今では関東や関西とい、た遠いところからの苦情の電話がかかってくることもあります。もはや『会って話し合おう』なんてことはできません。おる学校の教員では、1クラス平均2人の生徒が『SNSで知り合い、会ったこともない人』と実際に会っていました。そこにやってきた人が『悪い人』でなかったからよかったものの、ひとつ間違えば、ニュースに出てくるような事件となっていたわけです。それほど、子どもたちをとりまくネットの影響は、私たちの想像をこえており、また子どもたちも、その情報を疑わず素直に信じこんでしまいます。

昔はニュースで見る事件は、遠い別のところで起きていました。今は、ここで起きる時代になっていいます。それとも子どもが純粋であればあるほど起きやすいです。その怖さは...、ここには入りきれないので、何かの機会にでも紹介します。



## 返信がどう ありがとうございます!!

ありがたいことに返信をいただいたりしておりますが、のせる紙面がなくて申し訳ありません。今日、SNSのトラブル等、何か経験されたことや情報等ありましたら、よくお願ひします! 感想でもうれしいです。

